

令和5年度 第3回 学校運営協議会 議事録

校名	府立かわち野高等学校
(准)校長名	校長 尾方 崇光

開催日時	令和6年2月5日(月) 15:15 ~ 16:45
開催場所	府立かわち野高等学校 2棟3階 アクティブラーニングルーム
出席者(委員)	蛭田会長、中野副会長、内田委員、江田委員、今井委員、渡邊委員
出席者(学校)	尾方校長、志村教頭、高須事務長、中田首席兼教務部長、奥首席兼第1学年主任、木戸生徒指導部長、稲穂進路指導部長、吉本第3学年主任、松村第2学年主任
傍聴者	—
協議資料	①令和5年度 第1回・第2回学校運営協議会議事録について ②学校経営計画及び学校評価(案)【令和5・6年度】
備考	

<p>議題等(次第順)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校長挨拶(校長:尾方 崇光) 2. 会長挨拶(会長:蛭田 勲) 3. 協議:令和5年度 学校運営協議会 第1回・第2回議事録について 「令和5年度学校経営計画及び学校評価(案)」及び「令和6年度学校経営計画及び学校評価(案)」について 4. 報告:各分掌・各委員会・各学年からの今年度総括 5. 事務連絡:令和6年度学校運営協議会予定について 					
<p>協議内容・承認事項等(意見の概要)</p> <p>【協議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度学校運営協議会 第1回・第2回議事録について、中野副会長、江田委員から誤字・表現について数点指摘あり ➡承認 ・「令和5年度学校経営計画及び学校評価(案)」についての達成状況と「令和6年度学校経営計画及び学校評価(案)」の計画及び重点目標について、校長から説明。また、学校教育自己診断については中田首席から説明。➡承認 <p><蛭田会長>:生徒の心に残るHR活動素晴らしい。学校教育自己診断の数値がここまで高いのに驚いている。 ICTの活用と授業理解度との関係性はいかがか。➡生徒の興味関心は高まっている</p> <p><中野副会長>:教員が前を向いて尽力していることが伝わる。部活動の地域移行や教員の部活動に対する意識はいかがか? ➡活発に活動している部活がほとんどなく、部活動大阪モデルが成り立たない。教員の地域に移行するという熱量はなく、地域の外部チームに所属している生徒も恐ろしくない。</p> <p><内田委員>:生徒、教員の減少は、教員一人あたりの負担は増加するだろう。その中でも、生徒の満足度が向上(もしくは維持)しているのは大変なことだと思う。</p> <p><江田委員>:日々の取組みの成果が数字に顕著にあらわれたと思う。総合的な探究の時間への教員の満足度の低さは、目標が高いことが起因しているのではないか。生徒の満足度は高い。 「小規模校の悲劇」…一人が複数の役割で仕事を回していかないといけない。業務量は変わらないので、どう回していくかが課題。</p> <p><今井委員>:全体的に数値が向上しているのは、生徒や教員が「閉校」に意識が向いているのが起因しているのではないか。 「議論する」授業は、生徒たちの成長につながる。</p> <p><渡邊委員>:楽しく学校に通っている息子の姿をみて満足であった。</p> <p><蛭田会長>:かわち野高校応援団としてのメッセージとして受け止めていただければと思う。</p>					
<p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各組織からの重点目標に対する総括 <p><教務部>:デジタル採点について順調に教員に浸透している。ICTを活用した授業の研修を実施したことにより、発表者も受講者も授業改善の意識が高まった。</p> <p><生徒指導部>:部として共通目標を持って指導を行った。そのため、学校教育自己診断では、生徒から肯定的な意見が向上した。部活動の加入率をあげることは困難であるが、現状活動している部活動が充実する形を作る。 学校行事は、従来と異なった形の実施となり、教員間で異なる熱意があったため、集約に苦心している。遅刻数が目標としていた2,500件を超えてしまった。</p> <p><進路指導部>:学校斡旋就職、指定校推薦入試の欠課報告。一般入試に数名挑戦中。 自己就職、未定者が一定数いる。求人数は1,500件を超え、昨年度を上回った。 未定者については、卒業することを優先させる。</p> <p><第1学年>:118名スタートだったが、人間関係や生活習慣などを理由に、13名が転退学。 今後も増える可能性がある。中学校との連絡は丁寧に行っている。生徒は相変わらず精神的に弱い傾向。周囲に流されやすいが、素直。人権的な問題発言は、すべて1年生。言葉への理解が乏しいが故であるが、集会で丁寧にした結果、生徒に人権意識が定着してきた。生徒・保護者との対話の時間が長い。生徒はICTを使用できるのが前提で、どのように授業担当者が使用するかが課題。</p> <p><第2学年>:96名スタートで、現在86名。進級が危ぶまれる生徒は、20名を超える状況。 「企画から学ぶ」をテーマに、HR活動を実施。リーダーとなれる人物が不在のため、その素養がある生徒を引っ張って育成している。「かわち野オールスター感謝祭」(クイズ大会)「the 19 match(借り物競争など)」(クラスマッチ)。修学旅行や芸術鑑賞への参加意欲が高いことは、成長を感じた部分である。</p> <p><第3学年>:121名スタートで、現在120名。2月中旬に卒業判定会議を実施。卒業ができない生徒が数名出る可能性がある。芸術鑑賞、球技大会、や、遅刻のポイントシステムの導入など、生徒の登校を促進するような仕組みを行ってきたが、2学期後半は、生徒の意欲を刺激することが満足にできなかった。</p> <p><蛭田会長>:心に残る学級活動。リーダーは育てていくもの。先生方も心身ともにご自愛願いたい。 <中野副会長>:生徒を向いて教育活動を行っているように感じた。「閉校」の中で、盛り上げていく大変さがある。 <内田委員>:いろんな人を招き、いろんな経験をさせてほしい。「かまってちゃん」が多いがご対応願いたい。 <江田委員>:教員の熱意は、生徒に十分に伝わっているだろうと思う。今後も継続してほしい。 <今井委員>:教員が「やりきる」ことが重要。教員が楽しんでほしい。支援の側面は、大切にあげてほしい。 <渡邊委員>:2年間参加させて頂き貴重な経験になった。自分も高校生をやり直したい気持ちになれた。 息子は幸せ者だと思っている。これから家庭でしっかりと話をしたい。</p>					
<p>次年度の会議日程</p> <table border="1"> <tr> <td>日時</td> <td>令和6年度:第1回 5月20日(月)・第2回 11月25日(月)・第3回 2月3日(月)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>府立かわち野高等学校 2棟3階 アクティブラーニングルーム</td> </tr> </table>		日時	令和6年度:第1回 5月20日(月)・第2回 11月25日(月)・第3回 2月3日(月)	会場	府立かわち野高等学校 2棟3階 アクティブラーニングルーム
日時	令和6年度:第1回 5月20日(月)・第2回 11月25日(月)・第3回 2月3日(月)				
会場	府立かわち野高等学校 2棟3階 アクティブラーニングルーム				